

重要文化的景観「姨捨の棚田」

所在地：長野県千曲市大字八幡

選定：平成22年2月22日 重要文化的景観に選定
(水田・畑地などの農耕に関する景観地)

面積：選定範囲 64.3 ha

古くから月見の名所・棄老説話で有名な姨捨地
区（標高460～560m）の傾斜には、眼下の千曲川
や善光寺平と呼ばれる広大な盆地を臨んで、約
1,500枚の棚田が展開しています。

近世初頭に畑や水田が混在する耕作が行われ始め、その後利水が進展することにより水田が主体となり、16世紀半ばから近現代にかけて、日本を代表する棚田の文化的景観を形成しました。

「姨捨の棚田」の基本構造は、土石流が形成した斜面上の棚田と、その水源である更級川上流の大池が有機的に結びついているという特徴があります。近世初頭における営農は、斜面上の湧水群を利用して始まりましたが、やがて大池から更級川を経て各用水へと配水する灌漑手法ができ、土坡の畦畔を越えて導水する「田越し」と呼ぶ灌水方法や、水田の下層に敷設された「ガニセ」と呼ぶ暗渠による排水方法が工夫されることにより、棚田は斜面全体へと広がりました。

このように、「姨捨の棚田」は、水源となる大池から更級川へと繋がる水系を軸として、用水や田越しの灌漑手法が網の目のように張り巡らされ、16世紀半ばから近現代に至るまで継続的に営まれてきた農業の土地利用の在り方を示す独特的の文化的景観であり、日本人の生活または生業を理解する上で欠くことのできないものです。

(文部科学省)

The terraced rice fields in the Obasute district of Chikuma city, Nagano Prefecture, are a historical and cultural landscape composed of Japanese typical farm land and terraced rice fields, which for the first time in Japan were recognized as a national cultural asset for their scenic beauty. In the Obasute district, which has been famous as a moon-viewing spot since long ago, there remains about one thousand and several hundred terraced rice fields measuring over 40 hectares. The terraced rice fields which were created around the 16th century were called "Tagoto-no-tsuki (moonlights reflected on the water surface of each of the rice fields)" and were often taken up as themes for haiku poems, ukiyo pictures, etc, especially during Edo period. They were appointed as a cultural asset for their beauty as a historical and cultural landscape.



長野自動車道更埴I.C.より車で15分
長野自動車道姨捨S.A.より徒歩15分
JR篠ノ井線姨捨駅より徒歩10分
しなの鉄道屋代駅より車で15分
戸倉上山田温泉より車で15分

棚田内の道路は狭く、農作業車が通ります。
見学にあたっては、駐車場からゆっくり歩いて
姨捨の棚田をお楽しみください。

千曲市教育委員会 生涯学習文化課 文化財係
〒387-0012 長野県千曲市大字桜堂268-1
千曲市文化財センター内
☎026-261-3210 FAX 026-261-3211
メール bunkazai@city.chikuma.nagano.jp

重要文化的景観「姨捨（田毎の月）」

名勝「姨捨（田毎の月）」

所在地：長野県千曲市大字八幡字姨捨

指定：平成11年5月10日 国の名勝に指定

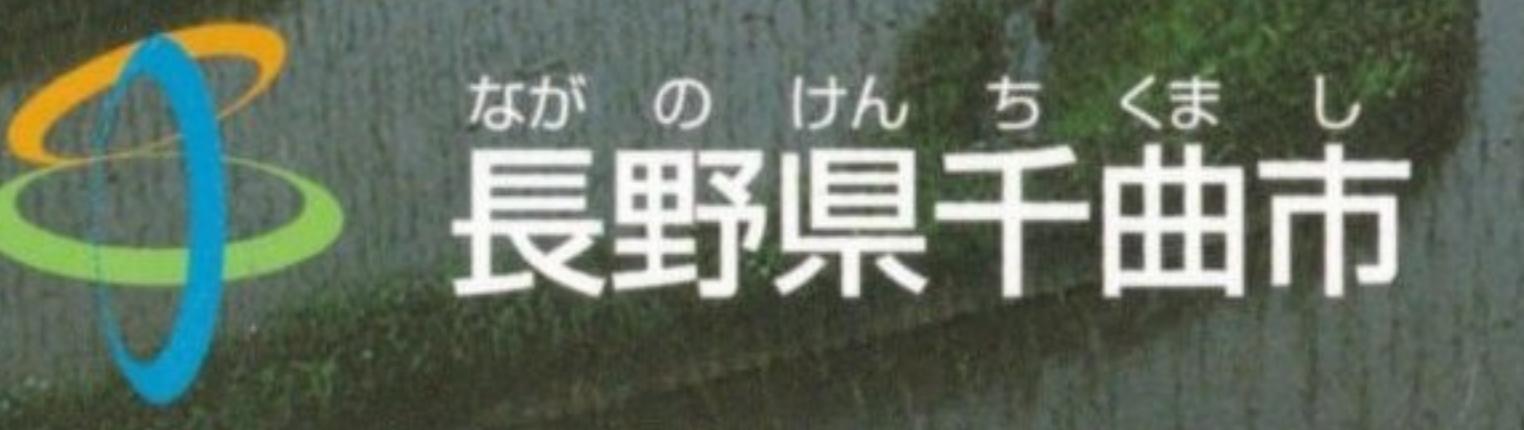
面積：名勝指定地 67,692.01 m²

姨捨の棚田は、我が国で初めて文化財指定を受けた農耕地、棚田が織り成す文化的景観です。棚田は、冠着山（1,252m）や三峰山（1,131m）などを中心とする聖山高原を背に善光寺平を一望する標高460mから560mに至る面積約40ha、約1,500枚の棚田が残っています。16世紀半ばから造られていった棚田は、特に江戸時代には文学・絵画の題材に取り上げられるなど、文化的景観の優れたものとして指定を受けたものです。

姨捨は、『古今和歌集』（905年）に初めて「姨捨山の月」と歌に詠まれ、また『大和物語』（956年）にみられる棄老説話等、古くから月の名所として数々の歌が詠まってきたました。狂言本『木賊』（1578年）には、姨捨の「田毎の月」が初めて登場し、江戸時代になると棚田開発が大きく進展するのに伴って、姨捨山だけでなく棚田も俳諧や紀行文の題材として注目されるようになりました。

貞享5年（元禄元年、1688）には松尾芭蕉の来遊もあり、また「冠着山・更級川・田毎の月・姨石・姪石・甥石・小袋石」など、姨捨を構成する13か所の風景や事物を描いた「放光院長樂寺十三景之図」（『善光寺道名所図会』所収）、あるいは観月の名所としての姨捨の棚田を情緒深く描く「信濃更科田毎月鏡台山」（歌川廣重『六十余州名所図会』所収）などにより、「姨捨の田毎の月」はさらに広く知られるようになりました。

このような、歴史文化的な姨捨「田毎の月」の景観を保護するために、姨石や芭蕉の句碑などが残る長樂寺一帯と、そこから望まれる四十八枚田、姪石を展望地点としてそこから望むことの可能な棚田地域の3地区を、それぞれ名勝に指定して保存を図ることになりました。また名勝指定地を含めた広い範囲を「重要文化的景観」として、保全を図っていきます。



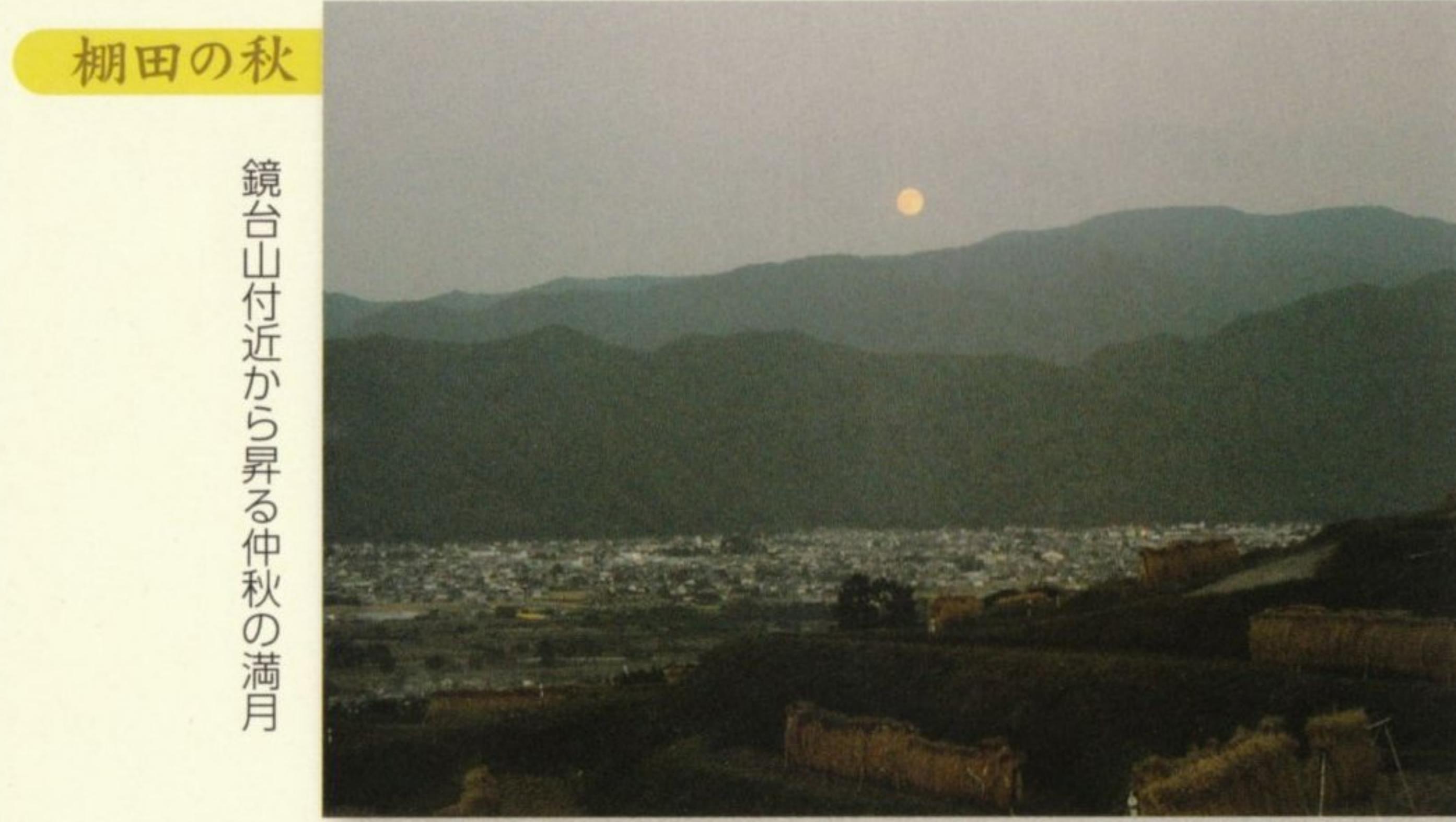
重要的文化的景観「姨捨の棚田」

名勝「姨捨（田毎の月）」



棚田の春

棚田の眼下に、善光寺平や山々が一望



棚田の秋

鏡台山付近から昇る仲秋の満月

ご案内

- 姨捨観光会館に隣接して、駐車場・トイレがあります。
- 駐車場は、姪石地区の入口にもあります。
- 観光会館や長楽寺では、おそばなど食事をとることができます。

長楽寺 ☎ 026-273-3578

姪捨観光会館 楽月庵 ☎ 026-273-4170

千曲市観光協会 ☎ 026-275-1326

<http://chikuma-kanko.com>

ご協力をお願いします

- ・棚田内への見学車両の乗り入れは、耕作の支障となり、また道幅が狭いので乗り入れないでください。
- ・この重要な文化的景観選定区域（64.3ha）は、千曲市景観計画の景観形成重点地区「姪捨地区」にあたります。
- ・この地区内で、建物の建築や土地の造成等にあたっては、景観に配慮するとともに届出が必要な場合もあります。
- ・詳しくは、千曲市役所 都市計画課までご相談ください。

☎ 026-273-1111（代表）



四十八枚田地区

畔にひつそりと置かれた田毎觀音
小さな棚田が四十枚ほど残る



長樂寺地区

芭蕉翁面影塚はじめ、たくさんの
文学碑が建つ月の名所



姪石地区

棚田貸します制度により、約八十組
の棚田オーナーが耕作



棚田貸します制度

- 詳しくは、千曲市役所 経済部 農林課までお問合せください。
〒389-0897長野県千曲市上山田温泉4-15-1
☎ 026-275-1050 FAX 026-276-0796
<http://www.city.chikuma.nagano.jp>